

2016年2月 家計簿だより

京都生活協同組合

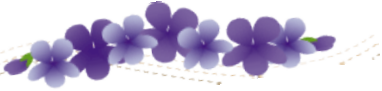
組織運営部

電話075-672-6304

FAX075-661-4311

～今月のおたよりから～

※後始末※




母が亡くなり、納骨・忌明法要も無事済ませました。父は20年前に亡くなっているので、母名義の貯金は子供たちで分けました。この手続きを司法書士に依頼するとかなりかかるらしいので、私が協議書を作りそれぞれの銀行を回り、書類をそろえました。上の姉は亡くなっておりその時に使った相続の書類を残していたのが、役に立ちました。一般的に、証明書は3カ月以内とか6カ月以内に発行された物が必要ですが、亡くなっている場合はいくら古い物でもOKです。本籍も結婚のときに動いているだけなので、簡単に謄本も揃いました。4つの銀行を回りましたが、どこも原本を見せてその場でコピーを取って返してくれたので、証明書も1通取るだけで済みました。土地の相続でも書類の作り方を法務局で教えてもらい私がパソコンで作りました。証明書はその場では返してはくれませんが、1週間後、全ての原本を返してくれたので、また、大事にとっておきます。姉妹には印鑑証明・印鑑・戸籍謄本・入れるための預金通帳を持ってきてもらい、その日に一緒に回って手続き終了です。簡単に済んだのは事前に銀行で書類のチェックをそれぞれにしてもらったからです。母の衣類の整理はまだありますが、これで姉妹にも落ち着いてもらえます。

夫は養子縁組してるので私たちは二人分もらいました。あんたらあ二人分やし良いなあと言われたので端数をそろえるために90万出しました。

(68才)

※請求書はまだ…※



長女が結婚式を挙げました。これからは優しい旦那様と二人で楽しい家庭を築いて欲しいと願っています。この頃の男性は優しいのにしっかりしている方が多いですね（もちろん女性も）。嬉しいことに安心して任せられます。

披露宴に来て頂いた方が皆様美人で主人はびっくりするやら感心するやら（男性はハンサムでしたが、主人は見えていません）。余興のない、歓談を中心にした披露宴でしたが、和やかな雰囲気、親からの最見目ですが、良い披露宴が出来たと喜んでます。

結婚式の費用はだいたい500万円、新婚旅行は100万円ほどだそうです。お祝い金として100万円渡しました。お車代や心付け、内祝い等で83万円ほど支出しましたが、上記とは別になります。足りるのか聞いたところ、カード払いでまだ請求書が届いていない…という返事でした(^_^)

(56才)

※「念のため」はキツイです※

今月はインフルエンザ（3人×2回+大人2人）を受けて24000円の出費です。念のためと思って毎年うけてますがキツイですね。

(34才)



～おたよりから その2～

☆お弁当 その1☆



今月から私が育休に入り、給与がなくなったため赤字続きの日々が始まりました。あとは育児基本給付金の後日入の予定なのでそれで何とかやっついていこうと思います。

今月はいつもより若干食費が多いかな？と思いました。週末家族で出かけることが多かったため、外食があったりしたせいかと思いません。出かけるといえば、長男が電車大好きなので電車に乗って京都駅や大阪まで行ったりしました。電車に乗ることが目的なので、行っても少し買い物する位なのですが。あとはなぜかお弁当が好きなので、ショッピングモールのフードコートに行って、親はフードコートのごはん、子どもは私の手作り弁当、といったことをやったり。フードコートの食事でなく、「ママの作ったお弁当、おいしい！」と言ってくれるのでついつい朝から頑張ってしまう。いつまでこの言葉を言ってくれるのか…休日に弁当を作るのは面倒ですが、この言葉を言われると、頑張れますね。

(36才)



☆お弁当 その2☆

加工食品の金額アップは生協カタログの中の空弁や地方の弁当にみせられ、どこにも旅行に行かないのでカタログの誘惑に負け2人分注文してしまうからです。

(72才)

☆もっと議論を☆

政府は軽減税率の話で大騒ぎですが、選挙目的としか思えない。本当に逼迫している福祉の問題を考えると、わずか2%の差で財源を減らすことがいいのか疑問に思う。本当に必要なことにお金を振り分ける方法は他にないのでしょうか？もっと議論してほしい。(一部省略)

(50才)



☆思わず電話しました☆

物価の値上がりと共に消費意欲が下がってきました。ただ、旅行代と孫関係は別ですが…。

大学生の奨学金返済の問題点を知りました。有利子の奨学金を20年かけて返済しなければならないのに、就職もままならずにいる若者たち。その借金返済のために祖父母が年金から援助している等、若者の貧困問題の一つにふれました。これでは少子化になるのは無理ないなあと思います。結婚もできないでしょう。有償ならせめて無利子にできないものかと思います。大学院生のときに奨学金をもらっていたかどうかと、思わず遠方に住む息子に電話しました。

(63才)

☆75才になったら☆

夫が10月31日で75才後期高齢者に。これは当然の年令だと思っていました。

11月30日に後期高齢者医療保険を3万円余り納入のこと。国民健康保険料は—160円になり2万円弱の引落とし。徴収の窓口がちがうのですが、合計は5万円と少し。来年3月迄月々これだけ払うのです。市役所に聞きましたら年間総額にすると1年前と同じくらいになり、4~10月までの健康保険料を少なく徴収し、後期になったらその分徴収するため昨年と比べ確かに4万円弱→2万円少しの徴収ではありました。驚きました。平均して支払う方がいいですね。75才になったら企業年金の基本年金も0になります。年をとって苦しくなる生計を実感しました。

(71才)

☆きつかった☆

大学後期授業料の払い込みがあり出費がきつかった。

(44才)

